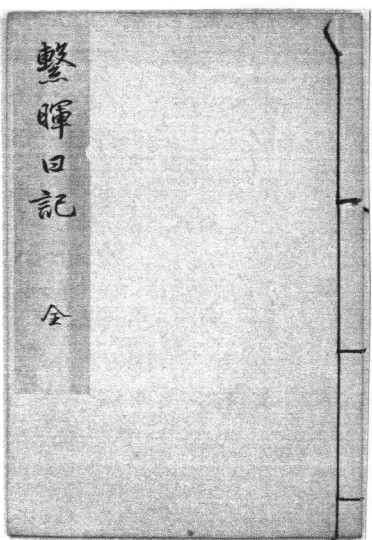


香川敬三 かがは けいぞう 宮内官。天保十一年十一月十五日常陸國茨城郡伊勢畑生れ、大正四年二月十八日没（一八五二—一九一五）。舊名蓮田廣安、のち鯉沼伊織、字心豊、變名小林彦次郎、蓮兒東太郎。號東洲、白水。藤田東湖の尊。文久三年藩士に從りて上洛し、岩倉具視の意を承け國事に奔走。慶應四年東山道鎮撫總督府大軍監として轉戦。維新後、兵部權大丞、宮内權大丞兼舍人長、皇后大夫兼主殿頭、諸陵頭を歴任。明治天皇崩御後皇太后宮大夫となる。極密顧問官、伯爵。

著書 『繫圖日記』（明治二十六年十一月—二十一年）百卷（石京職印行）。



整暉日記

全